



# 緑萌ゆ

新宮小・中学校長だより 2024.3.1

## 大豊学園交流授業

2月26日（月）に、高知県大豊町立大豊学園の3年生8人と、本校の3、4年生が新宮小・中学校で交流授業「お茶でなかよし交流会」を行いました。大豊学園は、令和4年度に開校した、大豊町唯一の公立学校で、小中一貫教育校（義務教育学校）です。全校児童生徒数がおよそ110名で、本校より少しだけ人数が多いですが、同じ小規模校です。高速道路のIC近くで山間部の川沿いにある立地、木材を豊富に使った真新しい校舎、ふるさと学習や体験学習、英語教育、ICT機器活用に力を入れている点、等々、わが校と共通点が多い学校です。

大豊町は名産の碁石茶というものがあるそうです。お茶つながりということで、碁石茶について調べた大豊学園の小学3年生と、あさぎり（総合的な学習の時間）で新宮茶について調べた新宮小学校の3、4年生が交流することになり、大豊町から3年生8名と先生2名が来校してくれました。

自己紹介をした後、お互いに新宮茶と碁石茶を紹介し合いました。プレゼンテーションソフトを使ったり、大豊学園さんは劇仕立てで紹介したりと、お互いのお茶について詳しく説明しました。両校ともに立派な発表でした。碁石茶というのは、お茶の葉を発酵させてつくられる発酵茶で、乳酸菌などが含まれており、やや酸味を感じるさわやかな飲み口のお茶です。大豊町では昔盛んにつくられていたそうですが、どんどん作る人が減ってしまい、40年ほど前には途絶えかけたそうです。しかし、小笠原さんという方が、一人大切に引き継ぎ、守っていたという事です。そして、健康ブームにより碁石茶の効能が注目されるようになり、今は大豊町の名産になっているという事でした。発酵させて、シート状になったものを正方形に切って天日干しする様子が碁盤の上に碁石が並べられたように見えることから、碁石茶と呼ばれるようになったという事でした。花粉症にも効果があるという紹介もあり、多くの人に関心を持っていました。

発表の後は、グループになって新宮茶を一緒に飲みました。初対面でしたが、あっという間にうちとけて、何年も友達だったように楽しそうに会話していて、すばらしい雰囲気でした。最後に、大豊学園さんから、碁石茶と手作りカレンダーをいただきました。

今回、大豊学園さんと交流授業を行いました。児童にとっては学校外への発信の体験ができたり、県外の児童との交流で視野が広がったり、大変貴重な体験となりました。このご縁を大切に、これからも交流の輪を広げていきたいと考えています。近々、バドミントン部も練習試合を計画しているところです。

